

国際高麗学会日本支部創立 30 周年を迎えて—記念座談会 学会の歩みとこれからの 10 年

### 論考

特集 日本による植民地支配の比較研究—戸籍制度から見る人的管理制度を中心に

序

—植民地支配の比較研究に向けて

伊地知紀子

近代朝鮮の戸籍についてのスケッチ

—民籍法時期を中心に—

水野直樹

朝鮮統治における戸籍政策のもつ意味

遠藤正敬

相続実務からみた在日韓国・朝鮮人の身分登録

姜信潤

旧植民地出身者をめぐる戸籍と国籍の再考

—在日朝鮮人の裁判例の検討を通じて—

高希麗

### 投稿論文

鄭鐘汝と在日朝鮮人美術教育との接点

池貞姫・白凜

千里馬運動期 DPRK の美術作品にあらわれた製鉄所労働者イメージ

喜多恵美子

### 研究ノート

中央アジアにおけるコリアン・ディアスポラ研究序説

—呼称とサブアイデンティティの問題によせて—

李眞恵

韓国花卉産業の生産と貿易動向

裴光雄

在日コリアン研究 40 年を振り返って

～在日コリアンにとっての国家、名前、国籍、出自をめぐる葛藤

朴一

### キルチャビ

今、読み解く南時雨の詩の世界 南時雨童謡集「春便り」より

許玉汝

『湖岩全集』と文一平

任正嬾

### 書評

廣瀬陽一『日本のなかの朝鮮 金達寿伝』

原佑介

文京深『文在寅時代の韓国「弔い」の民主主義』

金重明

原佑介『禁じられた郷愁 小林勝の戦後文学と朝鮮』

鄭雅英

学会誌 コリアン・スタディーズ 第9号 目次

国際高麗学会日本支部創立 30 周年を迎えて—記念座談会 学会の歩みとこれからの 10 年 ..... 1

論考

特集 日本による植民地支配の比較研究—戸籍制度から見る人的管理制度を中心に

序

—植民地支配の比較研究に向けて ..... 伊地知紀子 24

近代朝鮮の戸籍についてのスケッチ

—民籍法時期を中心に— ..... 水野直樹 26

朝鮮統治における戸籍政策のもつ意味 ..... 遠藤正敬 39

相続実務からみた在日韓国・朝鮮人の身分登録 ..... 姜信潤 53

旧植民地出身者をめぐる戸籍と国籍の再考

—在日朝鮮人の裁判例の検討を通じて— ..... 高希麗 60

投稿論文

鄭鐘汝と在日朝鮮人美術教育との接点 ..... 池貞姫・白凜 73

千里馬運動期 DPRK の美術作品にあらわれた製鉄所労働者イメージ ..... 喜多恵美子 89

研究ノート

中央アジアにおけるコリアン・ディアスポラ研究序説

—呼称とサブアイデンティティの問題によせて— ..... 李眞恵 104

韓国花卉産業の生産と貿易動向 ..... 裴光雄 118

在日コリアン研究 40 年を振り返って

～在日コリアンにとっての国家、名前、国籍、出自をめぐる葛藤 ..... 朴一 125

キルチャビ

今、読み解く南時雨の詩の世界 南時雨童謡集「春便り」より ..... 許玉汝 134

『湖岩全集』と文一平 ..... 任正嫻 153

書評

廣瀬陽一『日本のなかの朝鮮 金達寿伝』 ..... 原佑介 160

文京洙『文在寅時代の韓国 「弔い」の民主主義』 ..... 金重明 163

原佑介『禁じられた郷愁 小林勝の戦後文学と朝鮮』 ..... 鄭雅英 166

学会報告

国際高麗学会日本支部第 22 回学術大会報告 ..... 169

2020 年度学会活動 ..... 171

投稿規定・執筆規定 ..... 173

編集後記 ..... 176

# 国際高麗学会日本支部

## 2020年度

### 学会活動

#### ●国際高麗学会日本支部 第24回学術大会

日 時：2020年10月31日（土）11：00～17：00

会 場：オンライン開催

【午前の部】11:30～12:30

◎自由論題報告

1. 姜健栄（KMAJ 関西）「牛頭天王信仰と明治政府の弾圧」
  2. 朴志慧（東京大学大学院）「『京城日報』・『毎日申報』による家庭博覧会（1915）とその意味」
- 司会：石川亮太（立命館大学）

◎第14回理事会 10:00～11:00

◎第24回総会 11:00～11:30

【午後の部】13:00～17:00

シンポジウム「“韓国併合”110年－日本による植民地支配の比較研究：戸籍制度から見る人的管理制度を中心に」

〔基調講演〕

「近代朝鮮の戸籍にみる社会変容」水野直樹（京都大学）

〔パネリスト報告〕

「朝鮮統治における戸籍政策のもつ意味」遠藤正敬（早稲田大学）

「相続実務からみた在日韓国・朝鮮人の身分登録」姜信潤（姜信潤司法書士事務所）

「憲法からみる戸籍制度」高希麗（後藤・安田記念東京都市研究所）

司会：伊地知紀子（大阪市立大学）

#### ●人文社会研究部会

第98回人文社会研究部会

日 時：2021年1月31日（日）14：00～

会 場：オンライン開催

タイトル：在日朝鮮人文学史とその源流としての「女性文学」

報告者：宋恵媛（大阪経済法科大学）

コメント：原佑介（立命館大学）

金友子（立命館大学）

## ●科学技術研究部会

### 第 73 回科学技術研究部会

日 時：2021 年 3 月 13 日（土）17：00～

会 場：オンライン

タイトル：「半導体量子ドット超格子の光学特性」

報告者：李煥信（大阪市立大学）

## ●特別講演会

### 「総領事が語る－関西で見つめた韓日の未来」

日 時：2021 年 2 月 21 日（日）14 時～

会 場：オンライン開催

講 師：呉泰奎（駐大阪大韓民国総領事）

### 1. 投稿資格

国際高麗学会日本支部は、学会誌『コリアン・スタディーズ』を年1回発行する。掲載される原稿は、朝鮮半島および朝鮮民族に関するあらゆる分野の学術的な論文、研究ノート、書評論文、キルチャビ、書評である。論文、研究ノートについては、国際高麗学会日本支部会員は自由に投稿できる。投稿については、寄稿規定並びに執筆規定を熟読すること。ただし、当該年度までの会費納入を要する。投稿論文は常時受け付ける。また、編集委員会で企画する特集については、非会員にも寄稿を依頼することがある。

### 2. 投稿条件

投稿される原稿は、未発表の書き下ろし作品のみとする。同一原稿を『コリアン・スタディーズ』以外に同時に投稿することはできない。

### 3. 審査

寄稿された原稿を掲載するか否かは、別途定める査読規定に基づいて編集委員会で審査の上決定する。

### 4. 使用言語

本文は日本語のみとし、注および参考文献に限り外国語を使用できる。要旨およびキーワードは日本語および英語とする。

### 5. 枚数

原稿枚数は400字詰め原稿用紙換算で50枚以内とし、本文（タイトル、氏名含む）、注、参考文献、図表を含めたものとする。論文には、日本語要旨、英語要旨およびキーワード（日本語および英語）を付けることとする。ただし、いずれも枚数には含まない。枚数を超過した場合、審査対象としないこともあるので、下記を確認すること。

論文 50枚以内+日本語要旨（400～800字）、英語要旨（800～1000語）+キーワード（日本語および英語）

研究ノート 50枚以内

キルチャビ 20枚以内

書評 5～15枚

### 6. 投稿形式

投稿は原則として電子文書とし、マイクロソフト・ワード形式かリッチテキスト形式で作成したものを投稿規定10にある提出先のe-mailアドレスに送付すること。図表や写真は可能な限り本文中に挿入すること。マイクロソフト・ワード形式かリッチテキスト形式以外での提出については、投稿規定10にある問い合わせ先に連絡すること。必要に応じて印刷された原稿の郵送を求めることがある。

### 7. 抜き刷り

本誌は国際高麗学会日本支部会員には1部ずつ、論文、研究ノート各1本につき1部配布する。抜き刷りをご希望の場合は別途有料となるので、投稿の際に申し添えること。問い合わせについては10を参照のこと。

### 8. 校正

校正は原則として著者校正のみで、内容のみならず、投稿規定および執筆規定に則った形式に訂正することも校正作業に含まれる。審査により採用決定となった後に行われる初校段階での誤植以外の修正は原則として認めない。なお、再校は初校段階の訂正を確認するだけの作業となる。

### 9. 原稿の保管

投稿原稿の保管や取り扱いについては編集委員会が責任を負う。

## 10. 提出先および問い合わせ

投稿原稿は下記宛に提出すること。

国際高麗学会 日本支部事務局

〒530-0047 大阪市北区西天満4丁目5-5 マーキス梅田 506号

tel 06-6314-3775 fax 06-7660-7980

isksj@ams.odn.ne.jp http://www.isks.org/

投稿などに関する問い合わせは、上記住所の支部事務局をお願いします。

## 11. 著作権

投稿された原稿の著作権は国際高麗学会日本支部に所属するが、原著者が『コリアン・スタディーズ』に掲載された当該論文を自著作の単行本や論文集に再掲載することは妨げない。

(2014年6月30日)

## 国際高麗学会日本支部学会誌『コリアン・スタディーズ』執筆規定

2014年6月30日一部改訂

### 1. 本文

#### (1) 基本用語

- a. 原稿は日本語、横書きとする。図表や図版は原稿本文に組み込み、紙幅の制限内に含める。
- b. 朝鮮、中国に関わる人名・地名は漢字（日本の現代漢字も可）で表記し、漢字不明の場合はカタカナ表記とする。欧米由来の度量衡はカタカナ表記とする。

#### (2) 数字

- a. 数字はアラビア表記を原則とし、場合に応じて漢数詞を用いる。
- b. 年号は西暦を用い、国家・地域固有の年号を使用する際は西暦を（ ）で付記する。

#### (3) 見出し

- a. 章はアラビア数字で1, 2, 3…と表す。「はじめに」と「おわりに」（あるいはそれ等に該当する見出し）にも数字を振る。「はじめに」は1とする。
- b. 章以下の節は(1)、(2)、(3)の順で表す。
- c. 節以下の項はa, b, cの順で表す。

(例) 第1章⇒1、第1節⇒(1)、第1項⇒a

### 2. キーワード

論文、研究ノートには日英5語以内でキーワードを付けること。キーワード間は読点ではなくコンマを入れること。

### 3. 文献引用

(1) 本文や注、図表で文献を表記する際は、編著者の姓（刊行年：ページ）のみ表記し、文献の詳細は参照文献リストに表示する。朝鮮人の名は姓名とも表記する。編著者名が付いていない刊行物の場合は、発行機関名を表記する。

(例) 文献全体を示す場合

鈴木 [2005], 朴統一 [2011] によれば・・・

文献の一部を示す場合

…投票率は低かったとされる [キムハヌル 2012: 11-13]。

(2) 2度目以降の引用でも前掲書・前掲論文、同上書・同上論文などの用語は使用せず、上記(1)のように

表記する。

(3) 新聞・雑誌記事や社説の場合は本文・注・図表に新聞・雑誌名、発行年月日を記した上で、参考文献リストに新聞・雑誌名を入れる。

(例)

…保守言論による歪曲は深刻である [『月刊朝中東』2001年1月]。

…と指導者は発言している [『労働新聞』2012年4月16日]。

#### 4. 注

(1) 注は、本文の内容について文脈上の解説や言及をする必要がある場合に用いる。

(2) すべて文末注とし、方カッコ付アラビア数字で表示する。

(例) 1)、2)、3)・・・

#### 5. 図表

図表のタイトルは、図の場合は図の下に、表の場合は表の上に付ける。

#### 6. 参考文献

(1) 本文、注記、図表で用いたすべての文献を「参考文献」として本文の最後に一括して表示する。参考文献とは、本文中または注において引用した文献を指す。

(2) 文献リストは言語ごとに分け、日本語文献は著者名の50音順、韓国・朝鮮語文献は著者名のカナダラ順などに並べる。

(3) 参考文献については、著者名・(刊行年)・書名・号数(発行年月日を入れてもよい)・発行所・頁等を示す。筆者名のある新聞・雑誌記事は雑誌論文と同様に表記し、発行年月日も記入する。

(4) 英文文献の場合、書名はイタリックで表記する。論文名は単行本所収か雑誌所収かに関わらず一律クォーテーション・マークで括る。

(例)

単行本の場合

・朴一 (2005) 『朝鮮半島を見る眼－「親日と反日」「親米と反米」の構図』藤原書店、pp.123－125

・이광우 (2004) 『신경과학』 범문사, pp.153.

・Kim, L. (1997). *Imitation to Innovation: The Dynamics of Korea's Technological Learning*. Boston: Harvard Business School Press.

論文の場合

・文京洙 (2005) 「戦後60年と在日朝鮮人“国民”の呪縛を超えて」『思想』No.980、岩波書店、pp.8－9

・김신일 (1991) 「교육자치의 당위성과 현실」『교육학연구』Vol21, 교육출판, pp. 11－18.

・Min, Pyong Gap. (2001). “Koreans in New York: An ‘Institutionally Complete’ Community.” *New Immigrants in New York*, edited by Nancy Foner, New York: Columbia University Press, pp.173-200.

・Koh, Y.S. (2008). “Financial and Corporate Reform in Korea: Survival Strategies of the Korean “Chaebols””, *Asian Studies*, 54 (2), pp.71-88.

## 編集後記

新型コロナウイルスの猛威が世界を覆うなか、国際高麗学会日本支部も例外ではなく、オンライン上での学術大会や研究部会の開催へと移行せざる得なくなりました。しかし、オンラインだからこそ、これまで遠方や海外で参加できなかった人たちが参加しやすくなるというメリットもありました。「ステイホーム」期間では、じっくりと研究に取り組めたのか、投稿論文の応募数が過去最多ともなる予想外のこともありました。研究活動のみならず、これまでとは異なる社会のあり方が、さまざまに問われた一年だったのではないのでしょうか。

今号は、学会発足 30 周年を記念した座談会と、オンラインでの開催となった学術大会でのシンポジウムを特集に組みました。投稿論文、研究ノートは惜しくも掲載とならなかったものもありましたが、特集とあわせて充実した内容になったのではないのでしょうか。座談会では、本学会のあゆみと「 코리아学」発展にむけた諸先輩方の営為に私も勉強させていただきました。

『コリアン・スタディーズ』の次号は、発刊からはやくも 10 号となります。投稿締め切りは 9 月末日の予定です。多くの投稿をお待ちしております。

(鄭榮鎮)

『コリアン・スタディーズ』編集委員

文京洙

高正子

朴一

高龍秀

鄭雅英

蔡徳七

裴光雄

伊地知紀子

森類臣

全ウニ

洪ジョンウン

鄭榮鎮 (編集委員長)

# コリアン・スタディーズ

## 第9号

Korean Studies No.9

---

頒価 1,000 円

2021年6月1日 発行

編集・発行団体 国際高麗学会日本支部

〒530-0047

大阪市北区西天満4丁目5-5

マーキス梅田506号

TEL 06-6314-3775

FAX 06-7660-7980

E-mail [isksj@isks.org](mailto:isksj@isks.org)

発行者 国際高麗学会日本支部会長 鄭雅英

編集代表者 鄭榮鎮

装丁 金文男

制作 株式会社 田中プリント

Korean Studies  
Vol.9 2021

Round-table Talk: Celebrate The 30th Anniversary of International Society for Korean Studies  
Japan Branch

Feature Articles: A Comparative Study of Japanese Colonial Rule; Focusing on a Personal  
Management System from Perspective of Family Registration System

Toward a Comparative Study of Colonial Rule..... IJICHI Noriko

Family registration and its changes in Korea in the early 20th century .....MIZUNO, Naoki

The significance of the policy regarding family registration(koseki) of Korea  
under Japanese colonial rule. .... ENDO MASATAKA

Identity Registration of Korean in Japan from the Perspective of Inheritance Practice  
..... KANG SINYOON

Rethinking over Nationality and Koseki around the Colonial People-Consideration  
of Judicial Precedents of Koreans Residents in Japan ..... Koh Heeryo

Articles

Chong Jong Yo and Art Education for Koreans Living in Japan.....CHI Jong Hi, PEK Rum

A study on images of Steelworkers depicted in DPRK's artworks  
during the Chollima Movement .....Emiko Kida

Notes on Research

An Introduction to Study of Korean Diaspora in Central Asia: focused on the Problem  
of Nomenclature and Sub-Identity..... Lee Jinhye

Production and trade trends of the Korean flower Industry..... Kwang Woong Bae

Looking back upon my studies on Zainichi for 40 years .....Park Il

Kilchabi (Compass)

Nam Si Woo and The World of His Poetry .....HEO OKYEO

On Historian MUN Il Pyong and his book ..... IM Jong Hyok

Book Reviews

Korea inside Japan: A biography of Kim Dalsu by HIROSE Yoichi ..... HARA Yusuke

Korea during Moon jae-in era: Democracy of Mourning by Mun Gyongsu ..... Kim Jung Myeong

Forbidden Nostalgia: Kobayashi Masaru's Postwar Literature and Korea by HARA Yusuke  
..... CHUNG Ah Young

Published by the Japan Branch of International Society for Korean Studies  
4-5-5-506, Nishitenma, Kita-ku, Osaka, Japan